

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

産 業 建 設 調 査 会 記 録

平成29年8月10日（木）
全 員 協 議 会 室
9 時 5 5 分 ～ 1 2 時 4 8 分

【委 員】笹田委員長、飛野副委員長

串崎委員、布施委員、牛尾博美委員、原田委員、牛尾昭委員

【委員外】小川、野藤、森谷、道下、芦谷

【議長団】議長

【執行部】

(産業経済部) 田村産業経済部長、湯浅産業経済部参事、来原産業経済部企画監、村武産業政策課長、
竹中産業振興課長、井上ふるさと寄附推進室長、佐々木広島市場開拓室長、
坂田農林振興課長（併農委事務局長）、佐々本農林振興課副参事、吉田水産振興課長、
石田漁港活性化室長、岡本観光交流課長

(都市建設部) 下垣都市建設部長、河野建設企画課長、吉川建設整備課長、吉田地籍調査課長、
三浦維持管理課長、佐々木建築住宅課長

(金城支所) 吉永金城支所長、畑金城支所産業建設課長

(旭支所) 塚田旭支所長、今田旭支所産業建設課長

(弥栄支所) 細川弥栄支所長、後野弥栄支所産業建設課長

(三隅支所) 斎藤三隅支所長、永井三隅支所産業建設課長

【事務局】 鎌原書記

1. 執行部報告事項

- (1) 萩・石見空港の利用状況について
- (2) ふるさと寄附について
- (3) 農林関係の被害状況報告（平成29年7月25日現在）について
- (4) 農業委員会制度改正について
- (5) 漁業別水揚げについて
- (6) 北前船寄港地の日本遺産追加認定への取組について
- (7) 美又温泉会館入湯料について
- (8) 公益財団法人ふるさと弥栄振興公社の運営状況について
- (9) 公益財団法人ふるさと弥栄振興公社の浜田労働基準監督署からの是正勧告の報告について
- (10) 有限会社ゆうひパーク三隅の経営状況について（報告）
- (11) 浜田市公共土木災害及び宅地自然災害被害状況について
- (12) 災害復興室の体制について
- (13) 浜田駅前広場整備事業計画について
- (14) その他

2. その他

【議事の経過】

〔 9 時 55 分 開議〕

笹田委員長

産業建設調査会を開会したいと思います。出席委員は7名で定足数に達していますので、ただちに本日の調査会を開催いたします。

議題に入る前に、森谷議員から委員外議員として、ビデオ撮影許可申請及び発言の申し出がありました。このことについては、浜田市議会委員会傍聴規定第5条、傍聴人の写真、映画等の撮影の禁止規定より許可しないということよろしいでしょうか。

（ 「はい」という声あり ）

次に委員外議員として、本日の議題 1 (8) についての発言を求められています。このことについては、議会申し合わせにより、調査会での委員外議員の発言の申し出はできないこととしていますので、これを却下したいと思います。よろしいでしょうか。

（ 「はい」という声あり ）

この件については以上で終了します。

1. 執行部報告事項

（1）萩・石見空港の利用状況について

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。産業政策課長。

産業政策課長

（ 以下、資料をもとに説明 ）

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。串崎委員。

串崎委員

牛尾昭委員が中学校の修学旅行について言ってこられて、ようやく取り上げられたようですが、2-2で中学校を訪問して校長先生と意見交換をされるとなっていますが、どのような内容だったかわかれば説明をお願いします。

産業政策課長

中学校訪問については、第一中学校、第二中学校については大規模校のため全体での修学旅行は難しいため、今回は除外させていただきました。その他の、金城中学校、旭、三隅、弥栄、四中、東中を回らせていただきました。その中で、来年度に向けて前向きに検討していただいているのが、現在のところ2校あります。来年度の実施をとりあえず検討していただけたところが1校、そして31年度以降に検討しますと回答をいただいたのが3校あります。ですので来年度の検討は全体で3校、31年度以降の実施検討が3校となっています。

笹田委員長

その他どうですか。牛尾昭委員。

牛尾昭委員

関連市町はどうなのでしょう。県西部全体を含めた問題なんだけど、関連市町が同じような足並みで向かっているのかどうか。それと、出来れば10月の見直し時期に目標に達していない時に、どういう逆提案をして、達してなくても29年度以降も継続できるよう県と共同で準備されているのか。話せる範囲で結構なのでお願いします。

産業政策課長

関連市町については手元に資料の持ち合わせがありませんが、益田市さんと津和野町さんは、中学校の修学旅行を実際にされておられるとお聞きしています。逆提案については、まだそこまで踏み込んだ話はしておられない状況です。

笹田委員長

その他。
(「なし」という声あり)
ではこの件については以上とします。

(2) ふるさと寄附について

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。ふるさと寄附推進室長。

ふるさと寄附推進室長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。布施委員。

布施委員

浜田市の状況は今説明されたとおりなんです。総務省からの通達により返礼品には3割の上限があり、浜田市は10月から従うとのことですが、ふるさと寄附は全国的に、2年前に比べて、相対的に維持できているものなんでしょうか。それとも、規制がかかったために全体的にふるさと寄附が少なくなったのか。まずその1点をお聞かせください。

ふるさと寄附推進室長

今年度の総務省通知による見直し後の状況については、現在のところ数字は出ておりませんが、先ほど浜田市の状況のところでご説明させていただきましたが、去年のランキング1位の都城市さんが6月1日で見直しの対応をしており、その後の7月8月は寄附が少なくなっている感じはしますが、最初の駆け込みが一段落した状況だと思っています。昨年度の寄附については、全体としては一昨年度よりも増えているので、そういった傾向は続くのではないかと考えています。

布施委員

分かりました。好調ならよろしいですが。それと先ほど、浜田市ならではの特産品の返礼品を考えて充実していきたいという説明がありました。ふるさと寄附に出店されている中山間地域の業者の方と話した時に、ふるさと寄附推進室の方が来られて説明はされた。ただし、常に生産者が出展者、加工品の販売に長けているわけではありません。みな説明会の時には理解度が違うわけです。説明に専門用語が多かったり、一方的な説明であったり、自分が載せていただきたい写真が了解なしで差し替えられていたり、色んな不都合があると聞きました。ふるさと寄附推進室の方は、こういった対応で説明会をされているのか。そういった声は聞かれませんか。

ふるさと寄附推進室長

説明については、ちょっとわかりにくい点があったという話は聞いています。そういった点については個別のご相談をしていただければ、説明をさせていただきたいと思います。それから、写真等の差し替えについては、見ていてその商品を使った写真でなかったものがありましたので、寄附者の誤解を招く恐れがあるということで差し替えさせていただいたものもあります。商品の説明等、誤解を招くものがあれば当方で直すことがあります。若干連絡が遅れたというのがあるので、そういったことがないように、業者さんと「こういったものは誤解を招くので変えていきましょう」という丁寧なやりとりをしながら取り組んでいきたいと考えています。

布施委員

今言われたように、信頼関係なんですよ。確かに誤解を招くことは載せてはいけませんが、生産者・出品者の方に先に話をして「誤解を招くのでこれは差し替えます」といった親切な説明をするべきだと私は思っています。浜田ならではの産品というのは魚介類・米だけではなく、全

体があってトップがあるわけなので、大きい所を中心に話をするのではなく、底辺を中心としたより細かい説明をすると、皆さんがふるさと寄附に対して浜田市が頑張っている、それなら出そうじゃないかと。日本人の気質は限定品といった言葉に弱いです。ましてや新鮮・安価となると、そちらに飛びつくのが日本人の気質みたいなものです。そういう限定品を作るのは、中山間地域の小規模な生産者の方が持っているわけです。そこを大事にして、そしてふるさと寄附を推進していくんだということが出ると、大きい所はより大きく、小さい所も取り上げてもらうということで、頑張っていこうという気持ちになられると思います。是非、小さい出品者を大事にしていきたい。そうすれば、ふるさと寄附の基金がだいぶ安定的に得られるのではないかと思います。何かありましたらご回答をお願いします。

ふるさと寄附推進室長

おっしゃるとおりです。大きな事業者だけでなく、小さな事業者さんにも寄り添いながら。ふるさと納税は事業者さんあつての事業だと思っていますので、今後より丁寧な対応を心掛けて運用していきたいと思っています。

笹田委員長

産業経済部参事

産業経済部参事。

今の点についてもう少し補足させていただくと、やはり本旨は、小さな事業者の方について浜田の魅力をPRしてもらいたいということです。ただ、小さい事業者の方はなかなかPRとか、商品のマネジメントが出来ないということで、このふるさと寄附事業を活用して、浜田市と一緒にPRしていただき、より良い浜田市返礼品として扱っていただきますということで協力させていただいています。今は切り替え時期で、業者さんになかなか手が回らない所があったりしますが、それは1つずつしっかり相談に乗って、対応していきたいと思っています。

それともう1本難しい所は、これは飽くまで楽天等の商品サイトではないということで、浜田市のふるさと寄附に対する返礼品として、浜田のことがよりPRできる、イメージできるものを返礼品として扱っていかねばいけない中で、業者さんはこの商品は良いですよというPRになってしまって、それが本当に浜田の返礼品として適当かどうか、事務局もしっかり整理していかなければなりません。今回見直しにあたりましては、浜田市の魅力がしっかり伝えられるものという所を見せて、リニューアルをはかっていきたいと考えていますので。その辺は事業者さんともお話をしていかなければならないということもありますので、10月11月の見直しに向けて協議中です。

笹田委員長

牛尾昭委員

牛尾昭委員。

現行では浜田市に相応しくないものはラインナップされていると認識してよろしいのでしょうか。

産業経済部参事

ラインナップの仕方もありまして。ただ商品名だけ言われても、浜田らしさが出てくるかと言うとこれがなかなか。例えば、ポータルサイトでランキングにただ商品名だけ出ていても、これが浜田の物か何か分からなくて選択していただいても、浜田にいきつきませんので、その辺のPRの仕方もあると思います。また商品についても、やはり石見地域のものを原材料として使っているとか、地元で生産しているものなら良い

	ですが、他所から仕入れてきてそれをそのまま売られても浜田らしさは全然伝わりませんので。他所から仕入れてこられても、それを浜田の味に変えていただくような加工や工夫がありましたら、それはもう浜田の返礼品として取り扱っていきたいと考えています。この点については業者さんにも理解していただいて、そういった所で今リニューアルをはかっています。
牛尾昭委員	分かりました。是非その辺よろしくをお願いします。 各支所長に聞いてみたいんですが、先ほどの布施委員の質問にも絡むんだけど、是非やってみたいんだけどどうしたら良いだろうかと支所に相談される市民の方、生産者の方というのはいらっしゃるのかどうか。おられた時はどういう対応をされているのか教えてください。
笹田委員長 三隅支所長	三隅支所長。 今1件ほど、ご存じかと思いますが、みらいさんからご相談があると聞いています。
牛尾昭委員	逆に支所の方で、すごく光るものがあるんだけど載ってないよねというのがあると、例えば支所として発掘して載せるという仕事は、範疇ではないかもしれないけど、そういうケースがあるような気がするんですけど、どうですか。
笹田委員長 三隅産業建設課長	三隅支所産業建設課長。 色々と検討しているのは以前からご指摘をいただいている、道の駅でのふるさと返礼品の組み合わせについて、一応社長さんとも話をしながら進めていますが、なかなかまだ実現していません。今回制度が変わるところで、それに合わせて秋ぐらいから何とか載せて欲しいということで。そうすると平原の西条柿を中心に商品を組み合わせる案でどうでしょうか、という話はさせていただいています。
笹田委員長	その他。 (「なし」という声あり) ではこの件については以上とします。

(3) 農林関係の被害状況報告(平成29年7月25日現在)について

笹田委員長 農林振興課長 笹田委員長 串崎委員	執行部から説明をお願いします。農林振興課長。 (以下、資料をもとに説明) この件について、委員から何かありますか。串崎委員。 40万円以下は半額という話も聞きましたが、一番自己負担が多いような案件はどのくらいか、もし判れば教えていただきたいですし、またこの災害の復旧についてはいつ頃を目途にしているのか、分かればお願いします。
農林振興課長	負担ですが、農地農業用施設については約5パーセント程度と、当初の段階で説明しています。ですから100万円かかれば5万円程度だろうと。規模に応じてその率がかかってくるので、この程度が一番高いといったことはなかなか申し上げられないです。林地崩壊、家の裏ですが、これは事業費の8分の1という言い方をさせていただいています。詳細には家の人の所得に応じて若干の変動があるということで、これもいくらですということは言えませんが、だいたいの目安ということでそういった負

	担になるだろうという話を、調査の段階では概ねの情報を伝えています。期間ですが、基本的には3年の内に全部復旧することになっていますが、規模に応じて早い地区もあれば、時間がかかる地区もありますし、発注方法も、何か所か決まっていれば一括発注する方式を取られるのではないかと思いますので、発注方法によっても施工時期は若干ずれてくるかと感じています。
串崎委員	まだはっきりしたことは分からないだろうなと感じています。これによって離農が進むようなことがないように、対策していただきたいとお願いしておきます。
笹田委員長	その他。飛野委員。
飛野委員	激甚災害になる見通しというか、どのように踏んでおられますか。大きく違ってくると思います。
農林振興課長	2、3日前に菅官房長官から、農林関係の災害については、6月から8月の期間の中で、地域を問わずに激甚災害指定にしなければならない、という見通しを述べられたという報道が載っていましたので、恐らく激甚災害の指定になるのではないかと。それが決まれば、今日告示されるのではないかと聞いていますが、決定というところまではまだ聞いていません。
飛野委員	どんなタイミングで復旧が出来るのか、答弁もありました。町内・市内業者、基本県内ということもありますが、ほぼ今までの事例からいくと、市内業者で対応できていくものと考えておられますか。
農林振興課長	25年の事例も色々考えてみますと、恐らく地元業者で対応できるのではないかと判断しています。
笹田委員長	牛尾昭委員。
牛尾昭委員	過半に総務委員会を傍聴していたら、全体的に見ると今回の災害は、25年災害の7掛けだという話がありました。そういう認識で良いのか。また、25年の時は丁度改選前だったんですが、ワンペーパーもらって、うちの地域はどうなんだと問われると、林地崩壊だから多分8分の1ですね、といったペーパーをいただいて。僕らも多分問われると思います。だから出来れば最終確定ではないにしても、市民の質問に答えられるようなワンペーパーを、せめて所管委員会の委員くらいは配布してもらえると助かるんですが。準備ができるかできないかも含めて答弁をお願いします。
農林振興課長	ペーパーを作る最中でして、出来次第、議員の皆さまにはなるべく早くお渡しできるようにしたいと思います。それと半分は市から補助するという事業の中で、例えば家の裏が崩れた時に、家に直接土砂が当たって生活上支障がある場合には、必要最低限、家に影響がない程度まで業者さんをお願いされて、生活する上で支障がない程度まで取ってもらうことは出来ますので、その旨は調査の段階で各担当から、その家の方に説明はしていると思います。そのまま置いておくというのは家にとっても非常に良くないので。
牛尾昭委員	前回市役所に言う前に、土が入ってどけてしまったとか。何立米どけたのがあるかという、本当に入ったかどうかを写真で示すといって結構大変だった案件もあるんですけど、25年のそういう悪しき事例を参考に

農林振興課長	されて、ということによろしいですね。 そのとおりです。前回の経験を踏まえた上で、早めの対応をさせていただきました。
笹田委員長 原田委員	その他。原田委員。 全体の事は分かりましたが、農業施設の関係で2億5900万出ていますが、一番大きな被害というのは、どういうものがあつたんでしょうか。
農林振興課長	農業施設で被害が大きいのは水路の関係です。あと農道。代表的な事例で言うと、体験村に行く所の幹線道路、あれも農道の扱いなので農業施設と捉えています。
笹田委員長	その他。 (「なし」という声あり) ではこの件については以上とします。

(4) 農業委員会制度改正について

笹田委員長 農林振興課長 笹田委員長 飛野委員	執行部から説明をお願いします。農林振興課長。 (以下、資料をもとに説明) この件について、委員から何かありますか。飛野委員。 今回の改正は、農業を守る攻める、画期的な改正だと思っています。3つのポイントの話があつたけど、2つのポイントについて聞きます。認定農業者の件ですが、過半数と国と一括で出ていますが、口頭で4分の1という話が飛び出してきました。要は認定農業者は農業のプロ。何故今、半数を4分の1に口頭で言われたか気になる所です。
農林振興課長	認定農業者さん、出来れば半分以上に出ていただきたいとは考えていますが、なかなか農業委員との兼務が非常に難しいということもあって、別な決まりでもって4分の1でも良いことになっているので、そちらでお願いしたいなと考えています。
飛野委員	現在浜田市には58名の認定農業者がいるはずですが。実際58名ならしっかりいるじゃないかというイメージはあります。しかし色んな方がいて、様々だろうと思っています。結局、プロであるその人が多い方がやはり良いと私は思うんですが。一気に4分の1でも良いから4分の1にする、というのは私は困ると思っています。出来るだけ声かけをして、プロ集団をしっかり作っていただきたい。
農林振興課長	出来るだけ過半数ということで、鋭意努力をしているところですので、ご了承いただきたいと思います。
飛野委員	2点目です。この農地利用最適化推進委員ですが画期的なものです。これが攻めの部分になっていると思います。37人いて19人と18人、こちらの方は18人体制でやりたいということです。この推進委員は非常に重要な部分が課せられてくる中で、どういう人たちを選ぼうとしているのか。この方がリーダーシップを取っていくわけですから、どういう形で人選しようとしているのか。それから自治区別の配置はどう考えているのか。分かれば。
農林振興課長	推進委員さんですが、現状の農地状況を把握できている方をお願いしようということで現在進めています。経験ではないですが、今委員さんをされている方が、恐らく中心になって選出されるのではないかと考え

ています。自治区別にもバランスを取って検討しています。ゼロという所はございません。

飛野委員

30年2月28日までが任期だということですが、今の話でいくと、それまでもう既にこの体制を作っていく。今の人員の中で。それから先はまた新しく考えていくという考え方でよろしいでしょうか。

農林振興課長

今の体制は来年2月28日まで続きます。今回上程させていただく制度改革によつての新しい体制は来年3月1日からでございます。

飛野委員

しっかり進めていって、農業改革をしていっていただきたいと思います。

笹田委員長

牛尾博美委員。

牛尾博美委員

今僕が議会の方から農業委員会に出させていただいている。10月には選挙があるし、同時にこの推進委員会が設けられるという中で、今は会派の中から、経済委員会の中で議会から出ているんだけど、公選で一人ということで僕が出ているんだけど、今後は公選性はなくなるということなので、議会からはもう出る必要もないし、そういう選び方は認められないのだと思うんですが、その辺はもう1回皆さんに説明してあげてもらえませんか。僕も議会から出るとは思っていないんだけど。議会として今まで何十年も農業委員を会派から出していたシステムでやってきたけど、今回の法改正でどうなるか皆さんに説明してください。

農林振興課長

今までの法律でいくとそういった形で、議会からも必要であったということです。新しい法律に則った制度になると、議会はもう一切関係なくなるということです。その辺ご理解いただきたいと思います。

笹田委員長

その他。原田委員。

原田委員

先ほど飛野委員から質問がありましたのでだいたい分かりましたが、この農地利用最適化推進委員というものを置かれる目的というのは、どこにあるのか。

それから、最適化推進のための現場活動を行うとなっていますが、具体的にはどういうことをされるんですか。説明していただきたいと思います。

農林振興課長

あまり詳しい説明は難しい部分もございますが、推進委員さんが現場監督ということで、今まで許認可部分の業務は農業委員さんがやっておられたということで、今までの農業委員さんは現場の方に出向かれたということです。それが、極端な話、内容と概要という形で、推進委員さんは外に出向かれて現場の方を確認していただくということが主な業務になると思っています。そういった目的ですが、なるべく現場の業務を重要視しながら、遊休農地の発生防止や解消、あるいは担い手さんへの農地利用の集積・集約化になるべく活動していただきたいなということが、主な目的であろうと考えています。

原田委員

今の農業委員さんだけでは、とても農政に対応する体制がなかなか出来ないということで新しくされるんですか。その辺はどのように捉えるんですか。

農林振興課長

国がどのように考えるかですが、先ほど申しましたように、遊休農地をこれ以上増やさないということが大きな目的ではないかと考えています。今までの農業委員さんの業務としては、許認可が主であったものが、

笹田委員長

それプラス現場第一主義という形で、推進委員さんと連携してこういった目的のもとで制度を回復するという思いではないかと、私は考えています。

その他。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(5) 漁業別水揚げについて

笹田委員長

水産振興課長

笹田委員長

串崎委員

執行部から説明をお願いします。水産振興課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。串崎委員。

少し厳しい状況かなという感じがしていますが、1点だけ教えてください。比較表の小型いか釣り5t以上は、売り上げが9.2パーセントとかなり悪いですが、この状況はどうでしょうか。

水産振興課長

イカ釣り船5トン以上です。新聞等で報道されていますが、全国的にイカが獲れない状況が続いています。その中で6月については前年と比較して、イカ釣り船水揚げは良かったんですが、量的には非常に少ない状況が続いていると。これについては現在、海水温が日本海でも2度高いとか、そういう環境条件も影響しているのではないかと考えているところです。

笹田委員長

その他。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(6) 北前船寄港地の日本遺産追加認定への取組について

笹田委員長

観光交流課長

笹田委員長

牛尾博美委員

執行部から説明をお願いします。観光交流課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。牛尾博美委員。

外ノ浦の近くに住む者としてもそうなんですが、本当にこの北前船というのは浜田の歴史的な遺産、精神的な部分でも、他の藩との交流、人や物の出入りがあったところではあると思います。先ほど「打診があった」という話がありましたが、打診があって、積極的にやっていくつもりがあるかどうかを聞いてみたいんです。やむを得ず仕方ないでやっているのか、それとも大事なもののなのにこれまで着手してなかったから、金毘羅山とか日和山とか、外ノ浦の土堀倉庫もまだ残っていますし、そういった類のものをもうちょっとね。前回歴史館の話もあったように、そういうところで大事にしていかなければいけないという積極的な姿勢を持っているかどうか聞いてみたいんですけど。

観光交流課長

協議会の方から打診があって、嫌々参加するということでは決してございませんで。当初の、本来ですと29年4月に日本遺産に認定する準備の段階で、関わる事が出来ればと考えていたんですが、そういうお話というのがなかなか分かりませんでした、ということで。浜田市の北前船に関わる後世の文化財ということで、今5項目挙げていますが、少し弱い面があることは間違いありませんが、折角の機会なので、浜田の外ノ浦が北前船の寄港市として認定されるように、最大限努力していきたいと思

牛尾博美委員
笹田委員長
布施委員

っています。

言葉を信じて、頑張ってくださいよ、期待しています。

布施委員。

今の牛尾博美委員の発言で思いついたんですが、これは日本遺産の追加認定するために努力していくんだという感じはしたんですが、外ノ浦は非常に、浜田の漁港の中でも昔ながらの入り江を持っています。今はバイパスが出来たり9号線が改良されて通行量が少なくなりましたが、根本的に車道が非常に狭いですし、追加認定に伴ってのメリットが書いてありますが、本来浜田市の隠れたお宝の場所だと思っています。これがあるからやる、ではなく、端からまち全体の都市計画の中で、ここは大事ですよということを事前に色々と調べられて、この部分は浜田のお宝コースとしてあるべきだと思っています。外ノ浦地区に対する普段の取り組み、観光交流課としてどのような位置付けなんですか。

観光交流課長

観光地としての外ノ浦の位置付けについては、お宝探しも数年前に実施しましたが、その中ではそうした観光地としての位置付けというのはなかったように覚えています。こうしたことで、日本遺産の申請ということで、外ノ浦というのが観光交流ポイントとしても大切なものであるといったことを、また再認識させていただいたと思っています。今後の活動等については、建設部とも協議しながら、例えばお宝コースとして提案するといったことも考えていきたいと思っています。

布施委員

B B 大鍋の時に、大きい鍋の所に北前船の帆先くらいの模型を作ってPRされています。郷土資料館にも模型がありますし、私も知人から譲っていただいた、1メートル弱の北前船の模型があります。ちょっと公民館へ行くと皆さん持っておられます。それだけ浜田は北前船と色々な交流があったことは知っておられるんですが、ふるさと教育等で子どもたちに、浜田が北前船の寄港地だとか、輸出業に対しての認識はちゃんとありますか。歴史的なものを情報発信されていますか。私は不思議でならないです。知っておられる方、あまりいらっしやらないと思いますよ。その辺からやっていかないと、認定になりました、頑張りました良くなりました、これでは駄目だと思います。その辺も考えてやるのが、連携でやられる意義もあると思います。先進地がどういう取り組みをされているかも合わせてやらないと。認定されてそれで終わるような気がします。それについて考えはありますか。

観光交流課長

子どもたちにこの北前船のことを知っているかと問うと、知っている子は少ないだろうと思います。観光交流課から教育委員会に対して、教育材料を提供したことも多分ございませんし、それではちょっと不味いですので、これを機にそうしたことも教育委員会と相談させていただきたいと思っています。

布施委員

指摘があるといつもそうなんですが、こういう観光とか人との交流というのは、情報発信が大事なんです。感覚が研ぎ澄まされて、それ以上に必要なことがありますので、是非そういう感覚を持ってやっていただきたいと思います。

笹田委員長
牛尾昭委員

牛尾昭委員。

私は小さい頃に外ノ浦の親戚に預けられていまして、その家は丸物を

作家でして、今でも13本の窯が残っています。一度に3万個のすり鉢を焼くことが出来る窯が残っているということで、一般質問で提案したことがあります。産業遺産としてどうだろうと。文化庁との協議はハードルが高いと言われているけど、先般、北前船研究会で要望活動をさせてもらいました。その折に漏らしていたのは、ハイヤ節がある。このハイヤ節の源流というのは、正確に言うと沖縄にあるんだけど、牛深ハイヤから始まって、北前船を伝って全国津々浦々にハイヤの原型が色んな形を経て存在しています。これは1つ、文化の伝承としてアピールすべきものがあると思うんですね。それで全国ハイヤサミットをやったと。あの時に喜納昌吉さんに曲を作ってもらった。なぜ作ってもらったかといったら、ハイヤの原型は牛深なんだけど、牛深に繋がった原型は沖縄のノアシビという歌が、昔はメロディはついてなかったという説明が書いてあるんですけど、そこからというのでハイヤの源流にいる喜納昌吉さんに曲を作ってもらおうと。そういった歴史がある。今度8月の終わりには北前船のテーマで阿部先生がフォーラムで講演があったり、これ全国大会なので多分誰か行かれると思うんだけど。部課長の協議の中で、昭和61年には北前船が寄港しているとか、色んな素材もあるので、協議の中ではちょっと弱いと言われるんだけど残っているので、多分市役所の認識が薄いんじゃないかなと思って。北前船に乗ってハイヤ節が全国に伝わった、そういう過去も含めて、開府400年の年に是非やって欲しいということだったんですけども。十分な素材はあると思うので、このペーパーに欠けているような部分もあるので、文化庁に対してアピールするものを多方面から集めてもらって、是非攻める形で。埋もれた素材も文化庁にぶつけて、是非中に入れてもらうように。ハイヤ節のことも含めてお願いします。

笹田委員長

その他。課長さん、日和山方角石に行ったことがありますか。地元がこういったことで盛り上がらないと意味がないと思うんですよ。あそこへ行ったとしても、どこにそういう字があるのかも分かりませんし、駐車場もないし、宝だとしても地元が盛り上がらない限りは、何をしているんだという話で終わってしまう。その辺の感覚は持っておられますか。

観光交流課長

確かに地元の盛り上がりも大事ですが、実は8月1日にこの北前船の追加認定ということで、文化庁と協議をされました。情報として入っているのが、認定のポイントというのが示されていて、江戸時代の港町の風情を感じられるまち並みが有るのかないのか、というのが最重要事項だということもあります。そうしたことで、地元を盛り上げて文化庁と交渉をやっていくというのはどうなのかなと……。そういう考えも持っていて。折角ご提案をいただきましたので、地元のご協力もいただくような形で、ちょっと取り組んでみたいと思います。

笹田委員長

布施委員から指摘がありましたが、地元の方も知らないし、子どもも知らないようでこれを進めるのであれば、意味がないと思うんですよ。地元の方にとってメリットがなければ。認定されるメリットみたいなものを考えた場合に、浜田が盛り上がるために認定をお願いしていくわけでしょう。地元の方も分からない、子どもも分からない、課長も分からないでは、何のためにこの日本遺産の追加認定を一生懸命やっておられ

観光交流課長

るか、我々に伝わってこないんですけど。その辺り、部長はどう考えておられますか。

ご指摘のとおりだと思っていますし、地元の方も理解をしていないということがあるので、認定に向けて、先ほど牛尾昭委員からもご指摘いただきましたが、色んな材料を集めながら盛り上げていきたいと思っていますし、認定になればこれを浜田市の産業振興の位置付けとして、また新たな浜田の財産として位置付けて誘客等に活用することも大事ですし、さらには子どもたちの歴史教育という視点からも、この辺の理解を進めていく、またそれを後世に残していくことも、考えていかなければならないと思っています。ですので、今は認定に向けて最大限頑張っていきたいと考えています。

笹田委員長

他に。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。ここで暫時休憩します。前の時計で11時25分まで。

[11時 15分 休憩]

[11時 25分 再開]

笹田委員長

再開します。

(7) 美又温泉会館入湯料について

笹田委員長

金城産業建設課長

笹田委員長

布施委員

執行部から説明をお願いします。金城支所産業建設課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。布施委員。

美又温泉については委員会としても注目してしまして。私は有福共管の選出議員なんです。昨日監査して非常に厳しい所があるんですが、先ほどから料金改定については有福を値上げした時の参考にしたということですが、したらしただ収支的に上がった分は良くなる時があるんですけど、基金を取り崩してやっている状態なんですよ。料金改定するにあたって、ただ改定したからどうではなくて、それをしたから、シャンプーやシャワーといった備品、室内装飾等を結構整備されて、そして値上げした意味あいを持って、共管の委員会に提案されたわけです。ただ、安定的に長期的に温泉会館をやりたいから値上げするということになると、先ほど最初に言われた、地元の方が使われます、でも高齢化や色んな要因によって利用客が減ってくるのはもう目に見えています。ですからそれを逃さないためにも、地元以上に他から来ていただく、そして美又温泉全体が良くなるような施策を一緒にやらないと、ただここだけをおのように上げますという説明だと、私は将来が見えていていると思います。設備や不具合の件は多分聞いておられると思います。その辺はどうお考えですか。

金城産業建設課長

おっしゃるとおりです。基本的に来年度のことにはなりますが、美又温泉会館の内部・外装等の改修予算も考えているところです。タイミングとしては改修も含めての時期になろうと思いますので、先ほどおっし

笹田委員長
牛尾昭委員

やったように、ただ上げるだけではということがありますので、改修も含めて今から調整します。

牛尾昭委員。

Bパターンをお考えになっているということで、少し残念だと思います。旭は400円になるんですかね。いつかも言ったんだけど、旭へ行くか美又へ行くかと言え、明らかにどちらが良いかは皆知っているわけで。どちらへ行ったら良いか分かっている所はまだなおかつ値上げしても安いというのは、そちらへ流れますよね。だから今の料金安すぎるので。だから横並びにして、ある程度は設備を綺麗にする等をした方が良いんじゃないですかね。旭とは料金50円くらい差をつけて、そのことはどうなのかなと思って。この期に及んで50円安い設定をするのは、僕はそこまでこだわる必要はないんじゃないかなと思って。横並びにさせていただいて、その上で中の設備を良くするというくらいで十分なんじゃないですかね。どうもBパターンで行きそうなので、是非400円にされるべきではないかと、意見として申し上げておきます。

金城産業建設課長

今後検討してまいりたいと思います。1つこちらが思っているのが、今、保養センターの料金が500円です。その中には入湯税150円が含まれているので、実質的には350円ですが。その辺も頭にあるところです。

笹田委員長
原田委員

原田委員。

私も定期券を買って毎日行っています。1800円です、実感としては安いと思います、1日60円なので。ですから定期券の方はある程度値上げしないといけないかなと思っています。牛尾昭委員からも話がありましたが、あまり急激に上げていくとどうなのかなという感じもします。例えば現行が1800円、Aパターンで3000円ですので1200円上がるわけです。Bパターンで3500円。かなり行っておられる方はすごく上がるという印象を持たれるんじゃないかなと思います。私も毎日行くんですが、結構周布や長沢、江津辺りからも旭町からも来られます。ですのでトータル的なことも考えながら検討していただきたいと思っています。

もう1点は、時間帯によっては違うんですが、洗い場が3か所しかないんですよ。これが結構混雑時には不便なので、今後考慮していく必要があるんじゃないかという気がしています。洗い場を作るとなるとかなりお金もかかるとしますので、その辺も併せて検討していただきたいと思っています。

金城産業建設課長
笹田委員長

色々ご意見いただいたので、是非とも検討してまいりたいと思います。
他。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(8) 公益財団法人ふるさと弥栄振興公社の運営状況について

笹田委員長
弥栄産業建設課長
笹田委員長
布施委員

執行部から説明をお願いします。弥栄支所産業建設課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。布施委員。

決算内容を見ると、施設利用者含め全てマイナスですよ。民間ならレッドです。危機的状況ということで経営者含め全社員が、何をどうや

ったら良いか、つまるところ売り上げるために人を呼ぶ。人に来てもらって満足してもらう。リピーターを確保する。年間通して利用していないシーズン、雨の日など特典を活かしたイベントをやる。そういう知恵を出しながら経営していくものだと、私も民間時代に上司から口を酸っぱくして言われてきました。指定管理料があるから当期収支差額が18万6千円黒字となっていました、過去の数字は変えられませんが、29年度、もう半年経ったわけですが、実務的な取り組みが全然ないんですよね。これはまた同じことを繰り返すのではないかとすごく危惧しています。何に対して何がどうなるのかも細分化して、指定管理を出している浜田市も一緒になってやらないと打破できないと思うんですが、その辺の考えはどうでしょうか。

弥栄産業建設課長

おっしゃるとおりです。無駄もかなりあるかと思います。営業時間の問題、食堂についても、ほとんどお客さんが来ない時間もあるかと思いますが、営業時間を検討していくということ。またそれによって人件費を抑えることも可能だと思います。食堂のメニューの状況についても検討していくことにしています。できるだけそういうことをしながらコスト削減をはかっていく。それから、集客活動を全くしていませんでした。そのことについては営業活動をする職員をつけてやっていきたいと思っていますし、庶務の中でも話をしていますし、また公社の中でもその話をしています。

布施委員

弥栄体験村を利用することの一番のメリットは、課長、何だと思われますか。その辺が地元、浜田市、県外、これを売り出すために、集客活動するために、一番の魅力は何だと思われますか。その辺がやはり出来ていないですよね。課長の感覚で、弥栄体験村の一番のメリットはどう思われますか。

弥栄産業建設課長

弥栄に観光地はありませんので、外から来ていただくには第一に拠点になっていると思っています。また、地域の人とその施設を使って必要性を理解しないといけないと思っていますので、もっと地域の人が使え施設になりたいと思っています。そのために何をすべきかですが、まだまだ施設を十分活用できていないと思っていますので、既存施設を十分に利用していただくことが大切だろうと思っています。外から呼ぶ点については、個人のお客さまを呼びにくい施設なので、団体を呼ぶ、研修会や合宿等を踏まえて来ていただく。今も来ていただいています、まだ数が足りないと思っています。やればまだ人に来てもらえると思っています。

布施委員

私の質問は魅力は何ですかと聞いたんですが。長々言われましたが、魅力は一言二言程度に、簡素明瞭に伝えないと伝わりません。ですから課長の気持ちを一言二言にまとめたキャッチフレーズなり、魅力発信できるような言葉を。昔、某番組で信号のない村として取り上げられたために注目された部分もありますよね。そこにしかない魅力、二言程度で表すものを押し出してやらないと。地元を集客施設は大事なんだと言いましても伝わりませんから。弥栄にしかない魅力、体験村にしかない魅力を作り出す、そういったものに取り組んではじめて、決算に表れてくるんじゃないですか。是非とも報告される場合はそういう点も踏まえて

笹田委員長
牛尾昭委員

やっていただきたいと申し上げておきます。

牛尾昭委員。

決算の概況ですが、例えば食堂仕入れ代金。管理費は別を取っているわけだから原材料費だと思うんですが、28年度で47パーセント、27年度は50パーセントですよ。非常に原価率が高すぎる。減損が多いのかも分からないけど、これを見た瞬間におかしいなと。何か抜きがあるのかなと。普通に見たらですよ。それとも、いわゆる予定以上の仕入れをして腐って処分したとか、そういうのが多いのかなという数字に見えるんですよ。どぶろくの前価はそんなにかけられないのは分かるんだけど、明らかにおかしいと思える数字の上がり方があります。中身の事情はわかりませんが、ぱっと見ただけですごく不自然な数字もあるので、全体としてこうなるのは当たり前なんだろうなという感じがします。これだけ全部右肩下がりでは、言う方が気の毒な気がしてこれ以上言わないけど。収益事業の中でもおかしいよねという所は、少なくともおかしくないような数字にしておかないと問題があるのではないかなと感じました。

弥栄産業建設課長

管理のことについても少しは改善したんですが、まだ充分ではないと思っています。これについてもしっかり検討していきたいと思います。

笹田委員長

その他。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(9) 公益財団法人ふるさと弥栄振興公社の浜田労働基準監督署からの是正勧告の報告について

笹田委員長
弥栄産業建設課長
笹田委員長
原田委員

執行部から説明をお願いします。弥栄支所産業建設課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。原田委員。

過去2年分の不足額を7月11日に調べたとのことですが、金額はどの程度でしょうか。

弥栄産業建設課長
笹田委員長

全体で約740万円の支払いになりました。

その他。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(10) 有限会社ゆうひパーク三隅の経営状況について (報告)

笹田委員長
三隅産業建設課長
笹田委員長
布施委員

執行部から説明をお願いします。三隅支所産業建設課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。布施委員。

数字的にはよくわかりました。4月の瑞風の運行によって、自販機利用等が好調になった。瑞風運行の時間帯への取組みは、決算の報告に具体的にあったんでしょうか。それとも今後、そういった時間帯を利用した何かイベントをされるのか。振興策をお聞きしたいです。

三隅産業建設課長

瑞風の取り組みについては、1時に通過する上り以外については、早朝5時半だったり6時だったりするので、そこでイベント等は難しい状況で聞いています。なのでできるだけ自販機で買っていただきたいのが正直

笹田委員長
串崎委員

なところですが、ただ、1時に通過する際、道の駅で特別何かするわけではないですが、それに合わせて「七つ葉」というグループさんが、これイノシシ皮の加工を今までされていましたが、今後はイノシシ肉を使った食事メニューを考えておられて、瑞風通過に合わせて、始発6時の時には早朝4時から出店していただきました。それ以外の時には日中の瑞風通過に合わせて出店していただいていますし、井野にある「みのり市グループ」という加工の方も、通過に合わせて来ていただいています。それで集客を狙っています。あとは、通過時間のポスターを貼る等して周知していこう、というのが現段階です。

他に。串崎委員。

三隅に道路が出来た中で大変厳しくなっていくんだろという感じを受けています。28年の総売り上げ6800万となっているようですし、見たら平成26年度も同じく6800万となっています。平成26年は網掛けの補助金充当で200万程度の黒字、平成28年は110万のマイナスです。特別利益の考え方が、26年は340万、今回は20万ちょっと。昨年度は190万ですか。それがかなり影響してきているのだとは分かりますが、その考え方はどうなんですか。

三隅産業建設課長

特別利益は損失等補助金で、前年度のマイナス部分を翌年度で補助金に充てるというものでした。これにプラス、新規事業をやればそれも補助金がつきます。その金額がそれぞれ、平成26年の340万いくらというのは、平成25年の赤字補てん分と新規事業の金額になります。平成28年度は極端に少なく28万4千円いくらを、平成27年度黒字決算ということで、赤字補てんがなかったということで、28年度の28万4千というのは新規事業ということで、イベントの神楽をした時の費用とか、サイクルステーションを作るのにサイクルスタンド等を整備したという、新規事業の補助金のみということで、損失補てん分が前年度は黒で入っていないために、決算で大きな赤字が出たということです。

串崎委員
三隅産業建設課長

そうなると平成29年度はもっとたくさん出る形になるんですかね。

損失補てんについては、28年度で終わりですので、29年以降は今回の損失について補てんはありません。ですけれども予定であれば3月議会の当初予算にでも挙げて承認していただきましたが、指定管理料について29年度からの5年間の見直しということで、人件費部分等を運用させていただいて、税込みで270万円くらいの指定管理料がプラスとなっておりますので、その範囲の中で、今度は29年度決算には施設管理収入のところは税抜きで言えば250万円くらい増えてきますので、29年度はそれを含めた決算報告をさせていただきます。

串崎委員

それは分かりました。もう1個気になる点が概要です。小さいことを言う形になるかもしれませんが、最後から3番目、大変厳しい状況が予想され、三隅のゆうひパークにわざわざ下りてもらう形のものを作りたいというご意見を先般話していらっしゃるのを覚えています。そうしたことから考えると「これまでと同様」という気持ちではいけないのではないかと考えています。

三隅産業建設課長

同様のというのは取組みではなく、経営改善部分はこれまで同様に継続していきます、という意味でして。地域団体との連携による施設の魅

笹田委員長
牛尾昭委員

力アップというのはこれまでと同様、というつもりではなく、表現をさせていただきます。

その他。牛尾昭委員。

瑞風効果は具体的には売り上げ面のどういう所に表れているんでしょうか。

三隅産業建設課長

瑞風効果については、なかなか売り上げにどれだけ直結したかは難しい所があるんですけど、6月19日に開通イベントがありましたが、その時に出店等の売り上げもあったんですが、それを除いて施設自体のレストランや売店においては、通常の1.5、1.6倍の売り上げがありました。それによってその後も、2回目3回目もどれくらいの方が来ていただけるかなというのがありましたが、だいたい100人前後から、平日でも50人前後くらい、まだお見えになっているので、普通の日に比べると若干の売り上げはありますが、基本的にはそんなに大きな違いはありません。瑞風を機会に三隅の道の駅に来ていただいて、こういう施設があるんだと初めて知った方も結構おられましたので、そういった効果でリピートしていただければと考えています。

笹田委員長

その他。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

昼を過ぎていますが、残り少ないのでこのまま続けさせていただこうと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

(11) 浜田市公共土木災害及び宅地自然災害被害状況について

笹田委員長
維持管理課長
笹田委員長
飛野委員

執行部から説明をお願いします。維持管理課長。

(以下、資料をもとに説明)

この件について、委員から何かありますか。飛野委員。

先ほどあった農林関係の激甚の話もありましたが、土木の場合は違う捉え方があるのではないかと考えています。そうすると、土木の激甚の方はどのようなになっていますか。

維持管理課長
飛野委員
建設整備課長

現在のところで激甚指定がいただけるという話は伺っておりません。

ならば宅地の方はどのような自己負担割合になっているのでしょうか。

宅地自然災害は、建設整備課で毎年事業をやっている、事業費は50万以上で、負担が4分の1となっています。これはこのたびの災害に限らず、負担額は変わりません。

飛野委員
建設整備課長
笹田委員長

激甚の指定になってもかわりませんか。

はい。

その他。

(「なし」という声あり)

ではこの件については以上とします。

(12) 災害復興室の体制について

笹田委員長
都市建設部長

執行部から説明をお願いします。都市建設部長。

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。
(「なし」という声あり)
ではこの件については以上とします。

(13) 浜田駅前広場整備事業計画について

笹田委員長

執行部から説明をお願いします。建設企画課長。

建設企画課長

(以下、資料をもとに説明)

笹田委員長

この件について、委員から何かありますか。牛尾昭委員。

牛尾昭委員

最後の、駅前広場のＪＲ所有地については地元自治体に買い取ってもらうような申し合わせが、平成13年にＪＲ本州3社でなされているという記述があるんですが、こんな話は初めて聞きます。ＪＲで3社がそういう申し合わせをしているということと、地方自治体側とどういう関係があるのかという素朴な疑問があるんですけど。

建設企画課長

平成13年ということですが、駅前のＪＲ用地広場の在り方についてということで、何故こうなったとかいう細かい所は正直分かりかねます。飽くまでもＪＲの方は、申し合わせを本当にして最終的にはこういった整理をしてきたということ、何度か協議の中で聞いています。

都市建設部長

平成13年にＪＲの中で、そういった意思統一をされたということは確かにございます。我々が現在の駅前広場整備を始めた時には、この申し合わせは会社の中で統一されていますので、駅舎整備をする時に、当然そういった話が向こうからありました。我々の方としても駅北整備に30億ちょっとくらいかかっており、底地までは今すぐ買えないということで、裏面の赤の部分、駅舎の4分の3くらいが赤になっていますが、実際この部分についてはJRから浜田市に買い取って欲しいという申し入れがＪＲさんからありましたが、先ほど言ったように他のことに大変事業費がかかっていたので、お金がないのでということで協定を結んで、その部分を買わないけど、代わりに黄色で囲った所、駐輪場横の駐車場にして43台分くらいありますか、ここをパークアンドライドの土地ということでＪＲさんが使う、という協定を結んで現在に至っています。その時の協定では、先々本格的に、現在の駅前整備事業は暫定という形になっていまして、将来的にそこをやる時にはそこは買います、ということになっています。そういった経緯がありますので、このたび底地の整理も併せて行いたいということで、そういう方向性としています。

牛尾昭委員

およそどのくらいの金額に。今のような話が進んでいくと。どのくらいになるんでしょうか。

都市建設部長

今から鑑定を取りますので、具体的数字については申し上げる拠り所がありませんが、ただ路線価というのは出ています。そこから売買事例によってコンマ7くらいに割り戻して計算した所、土地代については、浜田市が買うのが約1億くらいになります。当然ＪＲさんも今から鑑定評価を取られますし、我々も評価を取ります。そしてお互いに突き合わせて、交渉していくことになります。およそそういったところです。

牛尾昭委員

売却についてはおよそどのくらいですか。

都市建設部長

売却についても今言ったことで考えますと、約1億弱くらいの売却になるかと思います。

牛尾昭委員	1億くらいで購入して、市に入ってくるお金も1億くらい、プラスマイナスゼロくらいの感覚で認識していれば良いということですね。わかりました。
都市建設部長	そのとおりです。それに加えて、うちが水路整備や表面の部分、要はラインの引き換えとか移転とか、そういった事業費がかかっています。これは当然、工事費としてやってまいりたいと思います。
牛尾昭委員	駅裏の通りの水路の関係については、元々地域住民から長期にわたって要望が出ていますので、是非これに併せて整備していただくようお願いしておきます。よろしくお願いします。
笹田委員長 牛尾博美委員	その他。牛尾博美委員。 新しい浜田駅が出来て、大々的な素晴らしい浜田の玄関になったと思っています。それがまた改めてステーションの移転新築ということで、いただいた図面を見たんですが、牛尾昭委員が言われたように、これをやるにあたっては私に言わせれば夜が暗いとか、あるいは緑がないとか、あるいは駐車場が少ないがための送迎の利便性、浜田市の玄関としての公共バス、そうしたものを上手く機能的に考えていく上で、是非とも現状を考えて、市民や地域から、パブリックコメントのような形式的なものではなく、もっと市の玄関としての機能的・便利・市民が喜ぶような駅を、改めて再開発出来るのではないかとすごく希望を持っています。これから先、そういうことをされるかと思いますが、計画についてはあるのでしょうか。
都市建設部長	おっしゃったように、駅というのは交通の結節点でして、一般の利用もさることながら、当然バスやタクシー事業者のご意見を重視しながら進めるべきだと思っています。現在ここに書いてあるアバウトな図面にしても、一応石見交通さんのご意見等を参考にしながら、とりあえず書いたものです。路線バス、現在は共有で、高速バスが発券する時に切り替えが必要といったこともありますので、必要な部分を取り、残った部分を有効に活用したいと思っています。そこには一般乗降場と書いてありますが、ホテルの新たに建てる所の下です、広い歩道があります。そこについても一部は江津行き路線バスに使う乗り場の一部ですし、それ以外の所は一般乗降場として適用できます。それから真ん中にある現在の乗降場、左端も、一般乗降場として使うこととしています。それから緑とおっしゃいましたが、現在どんちっち時計がある周辺も緑地部分を設けて、観光客の方が横断歩道を渡って島から中が見られるようなことも考えていきたいと思っています。パブコメというご意見もありましたが、まだ現在そこまでやるかどうかは決めていません。いずれにせよ議会の皆さんの意見を聞きながら進めていきたいと思っています。
笹田委員長	他に。 (「なし」という声あり) ではこの件については以上とします。

(14) その他

笹田委員長	執行部から他にありますか。 (「ありません」という声あり)
-------	---

鎌原書記
笹田委員長

委員からその他ありませんか。

(「なし」という声あり)

では全員協議会に提出すべきもの、資料配布のみとすべきもの、提出の必要がないものの決定をしたいと思います。執行部から意見はありますか。

一応産業建設委員会では委員さんで決めてもらう方向でお願いします。

分かりました。

(1) 資料のみ

(2) //

(3) 説明あり

(4) //

(5) 資料のみ

(6) //

(7) //

(8) //

(9) //

(10) //

(11) //

(12) 説明あり

(13) //

よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

はい。以上で議題1は終わります。

2. その他

笹田委員長
原田委員

その他で何かありますか。原田委員。

旭温泉の有効活用起業者事業がありましたね。島根県の6次産業推進事業で助成を受けられて行った事業ですが、現状どのようになっているか聞いておきたいです。というのも、地元の旭自治区の方からも若干話を受けていまして、我々も出来た当時、産業建設委員会で行って食事をした経過があります。個人でもその後2回くらい行きましたが閉まっていますし、どうも旭町の方の話を聞くと、営業しているのかどうかかわからないと。実際、現状はどのようになっているのか。県も補助事業を設けていますし、旭の支援も受けながらやっている事業ですが、皆さんから不信感があると言われるので、私も分かりませんので、現状について説明をいただきたいと思います。

旭支所産業建設課長。

この件については3月議会でしたか、布施議員からもどうなっているのかというご意見があってお答えしました。原田委員がおっしゃるようなお店は県の6次産業化事業で補助をいただいてオープンされたわけですが、従業員さんを手配したり、起業者さんが思っておられたような営業体制が取れないということで、一応週末金土日あたりは予約でお店を開けて

笹田委員長
旭産業建設課長

おられるそうです。先般も東京の方から有名な先生が来られたということで、すっぽんを味わっていただきましたが、毎日定期的に営業するのが、お二人の体制では難しいそうです。お店に限っては予約でやっておられる状況です。市で補助した有効活用事業については、水槽3基すべて稼働しているし、昨日やっとすっぽんの卵が産まれたということで報告いただいていますので、そちらについてはぼちぼちではありますが順調に事業は進められているのかなということで、定期報告とさせていただきます。

原田委員

ということは事業の方は、毎日ではないけど継続してやっておられるということなんですか。その辺がどうも、ああいう所に支援しても良いのかとか、色んな話を私も聞いていまして。継続して事業しておられるなら良いですが、金土日だけ開けているということなんで、市民の方も非常に不信感を持っておられるんですよね。いつ行っても開いてない、あんなことで良いのかと。その辺のところがもうちょっと、詳しい説明をきちんとしておかないと、不信感に繋がっていくのではないかという気がしています。そういう所に支援するのが適当だったのか、という声を聞いていますので、担当部署としてどのように思っておられるのかお聞きします。

旭産業建設課長

お店の入り口に「週末に予約を受け入れます」という表示でもあれば、まだ分かりやすいと思いますので、アドバイスをしておこうと思います。先ほど言ったように、お店は市の支援とはまた別で、養殖については順調に行っていますので。市民の方は一緒くたになってしまっていて、あれとこれは別々なんだということまではお分かりでないと思いますが、お店については玄関に張り紙でもして営業していただくよう、アドバイスをしようと思います。

笹田委員長

その他ありますか。

(「なし」という声あり)

では執行部の皆さんはご退席されて結構です。

《 執行部退室 》

笹田委員長

それでは、浜田市地酒と地物で乾杯条例について協議したいと思います。現況について事務局長から説明をお願いします。

小川局長

地酒で乾杯条例の関係、6月議会の委員会で、9月議会に委員会発議で提案したいという話があり、了解を得られています。原案も作り、今は法令に見てもらっています。条例ですので、条例の形式にある程度あってないといけないので、それを見てもらって、返ってきたら一度お配りして、これで良いとなれば9月議会に提案してもらおうと思います。委員会発議になれば委員会付託もありませんので、今の状況では、最終日の提案で即決という形をお願いできればと思っています。議案が出来た段階で、執行部に見てもらった段階でも皆さんにお配りしますので、よろしくお願いします。

笹田委員長

この件について何か、聞きたいことがありますか。

(「なし」という声あり)

はい、ありがとうございました。

それともう1つ、地方における社会資本整備の促進を求める意見書について皆さんにお配りしていますが、これも非常に必要なことと思いますので、委員会の方で9月議会で提案させていただきたいと思います。また機会に見ていただけたらと思いますので、よろしくお願いします。

それと皆さんに配布しています、一般県道黒沢改良促進に対する要望書について、提出されましたのでご確認をお願いします。

その他何かありますか。

(「なし」という声あり)

以上で産業建設調査会を終了します。

[12 時 48 分 閉議]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

産業建設委員長 笹田 卓 ⑨